

	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
1	議会	H31.1.18	山崎東中	議会	議会運営	本会議において、賛成者は賛成の意見を市長にぶつけてもっと議論すべき。1月11日の臨時議会を傍聴していたが、「取りあえず買う」としか理解できなかった。もっと市民がわかるように賛成・反対の議論をすべきである。	臨時会における会期は1日であるが審査付託された予算決算常任委員会において付議事件1件について質疑及び自由討議並びに討論を経て採決を行った結果、賛成多数により議決したものであります。今後とも、議案審議については議員間討議を尽くすなかで合意形成に努めたいと考えます。
5	議会	H31.1.18	センター宮	議会	議会運営	穴栗総合病院の建設予定地の購入を、たった1日で決めた事がとても残念。市民の意見は聞いてくれないのか。	
2	議会	H31.1.18	山崎東中	議会	議会運営	議員報酬であるが、町から市になったときにアップしている。しかし穴栗市においては、規模が町に近いので市レベルの議員報酬はもらい過ぎと考える。それだけの仕事をして欲しい。	現在の報酬額が多いか少ないかは様々な意見があることは承知していますが、市民の負託に応えられるよう日々の活動に取り組んでいきます。一方で昨今は議員の成りて不足という問題も出てきており報酬額については多様な視点での検討が必要であります。
4	議会	H31.1.15	城下ふれあいセンター	議会	監視機能	市政の歯止めをかけて欲しい。弱者救済の施策であればいいのだが。	議会の役割である監視機能と議決機関として委員会審査や本会議での議論を通じて政策の向上に努めていきたい。
7	議会	H30.7.3	市役所	議会	政策提言	市会の役割として、市長の提案だけでなく、市会が提案する事項は。	政策提案能力の向上に向けた調査研究に努めていきます。
8	議会	H30.7.3	市役所	議会	一般質問	議員の一般質問は具体的にどのような形で質問しているのか。	会派や個人の調査研究及び委員会審査等に基づき、行政の進める施策について課題や問題点及び方向性を確認するなかで質問を行っています。

* 総務経済関係分

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
1	1	総経	H30.7.3	市役所	企画総務	情報発信	穴栗市はPR・情報発信が不足している。 (例：子育て支援⇒相生市など)	SNS等の利用を含め、積極的な情報発信を進めるよう要請しています。
2	2	総経	H31.1.15	波賀市民局	企画総務	情報通信	穴栗チャンネルを山崎の人がほとんど見ていないのは問題ではないか。加入料金の半額を補助するなど、何らかの対策を考えるべきだ。	良視区域での加入率の低さは当初からの課題であり、防災の観点からも積極的な加入促進と放映内容の充実を求めています。
3	8	総経	H31.1.15	波賀市民局	企画総務	総合病院	穴栗総合病院の用地のこと。新聞報道によると、財政的に大丈夫なのかと心配。	土地の取得については、議論のあったところではありますが、今後、病院の建設については市民の意見を聴きながら取り組みたいとの意向である。議会としては、その内容について適宜協議・報告を受けながら議論を重ね市民の理解が得られるような病院建設となるよう努めていきます。また、病院建設と併せて経営の改善についても強く求めています。
4	9	総経	H31.1.18	センター宮	企画総務	総合病院	総合病院移転用地は工場跡なので土地が汚染されていないか、薬品を使用していた為慎重な調査をしてもらいたい	
5	19	総経	H31.1.18	山崎東中	企画総務	総合病院	東亜林業跡地購入の件だが、病院を建てる具体的な計画はあるのか。他の市では建設地を購入するのに国庫補助があるところがある。なぜ穴栗市は全額市で払うのか。病院の移転よりも今ある総合病院の中身の充実に取り組んでももらいたい。今後の病院建設は、地域ごとに診療所のような病院を建てるほうが現状にあっているのではないか。	
6	20	総経	H31.1.18	山崎東中	企画総務	総合病院	市の将来を見据えて、身の丈に合った病院整備が必要。	
7	21	総経	H31.1.18	山崎東中	企画総務	総合病院	総合病院の中身を改善すべき。赤字対策が急務である。	
8	22	総経	H31.1.18	山崎東中	企画総務	総合病院	なぜ今用地を取得する必要があるのか？市民ニーズを把握してからすべきである。	

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
9	10	総経	H30.7.3	センターちくさ	企画総務	生活圏拠点づくり	生活圏の拠点づくり事業で検討委員会の進め方に問題がある。もう少し市民の意見を聞いて欲しい。	市民の代表である検討委員会での協議結果等情報の共有に努めることで市民意見の聴取につなげるとともに、議会としても多様な市民意見の反映に努めます。 一宮の拠点施設については、防災面からの検証も行う中で建物の位置を決定したと確認しています。
10	13	総経	H.31.1.18	センター一宮	企画総務	総務	一宮市民協働センターは計画通り各機能は発揮できるのか、結果として今と変わらないのではないか、どんな計画か	
11	15	総経	H31.1.18	センター一宮	企画総務	生活圏拠点づくり	浸水やがけ崩れを心配するが、建設場所の安全性は大丈夫なのか。	
12	29	総経	H.31.1.18	センター一宮	一宮市民局	ふるさと祭り	各自治会が赤字覚悟で出店していると聞か	本来の事業目的を考え、見直す時期が来ているのではないかと意見が決算委員会に出ており、現状の把握と分析に基づく今後の対応について当局と議論を行っていきます。
13	30	総経	H.31.1.18	センター一宮	一宮市民局	ふるさと祭り	ふるさと祭り本来の意義を考える必要がある（飲酒・衛生管理・出展内容等）少し行き過ぎではないか	
14	16	総経	H.31.1.23	センター三方	企画総務	公共施設	センター下三方・三方・繁盛は今でもたくさんの利用者が残り残して欲しい、代替施設をどこにするのか	センター三方等の施設は、連合自治会での利用の有無について検討いただくようになっています。
15	31	総経	H31.1.23	センター三方	まちづくり		地域の活性化活動を行っているが、行政の協力が欲しい。まず、自宅や公民館以外に拠点に出来る場所が無い。センター三方の横「まちぐるみ検診をする所」の屋根を直して活動に使えるようにしてほしい。台所なども開放し、使用させて欲しい。	
16	32	総経	H31.1.23	センター三方	まちづくり		三方地区地域活性化委員会の活動場所が欲しい。JA三方の里（レストランの辺り）やサンパティオを無料で使えるように出来ないか。	
17	37	総経	H30.7.3	市役所	まちづくり	公共交通	バスの駅が整備されていない。プラットフォーム、トイレ、ベンチ、屋根が不足。	

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
18	45	総経	H31.1.15	城下ふれあいセンター	まちづくり	公共交通	・路線の見直し（病院やジャスコに行く人が多い。） ・自宅からバス停までの距離が長いので、バス停を検討して欲しい。 ・休日の運行も含めて、乗りたい時に乗れる方法を検討して欲しい。 ・市の職員の利用はどうか。 ・あくまでも弱者のための公共交通にすべきと思う。	今後も地域からの要望をしっかりと聞き、路線の見直しを行っていくように、議会としても要請していきます。
19	39	総経	H31.1.15	波賀市民局	まちづくり	公共交通	公共交通の乗車人数が一人以下では、走らせる意味がないのではないかと。外出支援サービスのような、車を運転できない人を対象とした乗り合いタクシーのようなものを検討してはどうか。継続のできる身の丈にあった公共交通を考えてほしい。	公共交通と外出支援サービスの在り方について、当初目的に沿って考えてみる必要があると思います。また、今のシステムで、バスの利用が見込めない路線・地域においては、他市で行われている、交通特区を利用した乗り合いタクシー等の取り組み等の研究が必用ではないかとの意見もしています。
20	127	総経	H30.7.3	センターちくさ	公共交通		公共交通システムは、色んな方法、選択肢を持って欲しい。養父市特区の事例を含め検討してもらいたい。	
21	48	総経	H31.1.18	山崎東中	まちづくり	公共交通	利用者が少ないだけを理由に安易に廃止しないように。利用しやすい方法（例：どこでも乗り降りできるように）を検討してほしい。	
22	126	総経	H30.7.3	センターちくさ	公共交通		一便当たり1.5人以上の基準では、人口が少ない地域は路線を守れない。基準を見直してもらいたい。	採算性だけで判断しないよう求めている。
23	33	総経	H31.1.15	城下ふれあいセンター	まちづくり	公共交通	基幹路線のみでなく枝路線への運行を考えて欲しい、基幹路線乗降場所までが大変である	

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
24	53	総経	H31.1.23	センター三方	まちづくり	公共交通	公共バスでは山崎の病院へ行っても、運行時間が合わず帰ってこれない。社協や健康福祉部との連携で、病院へ行くための「病院バス」を走らせてほしい。山崎への「買い物バス」も希望する。 乗り継ぎが悪く、本当に利用したい人の為のバスになっていない。 空白地をなくすことを考えるのも大切なものかもしれないが、どんなバスが必要なのかを考えることも大切なのではないかな。	公共交通については、完結路線での利用が少ない地域に市の担当者が出向いて、意向調査をしています。その結果を受けて、改善できることから取り組んで行くこととしています。廃止が前提ではなく、持続可能な方策の検討を求めています。
25	58	総経	H31.1.23	センター三方	まちづくり	公共交通	・週2回の運行、曜日はどのように決めているのか。・利便性が低い様では利用者は満足できない。（日曜日の運行も含めて。）・地域の実情に合致した運行方法など必要ではないか。・障害のある人は乗車場所まで行くのが大変である。・乗車人数が少ない地域に対して、時間帯や待ち時間を含めて、議員は自ら実際に現地に出向いて住民の声を聞いているのか。	
26	67	総経	H31.1.23	センター三方	まちづくり	消防防災	避難場所は顔見知りの多い公民館の方がよい	公民館も避難所として利用可能であり、救援物資の配布も受けられます。（自治会からの届出が必要）
27	74	総経	H30.7.3	センターちくさ	建設	生活道路	千種高校と千種川沿いの道路の拡張の要望	R429側の利用が多いため、大型の通行も少なく、現時点で拡張の計画はない。ただし、通学路でもあることから、側溝に蓋をして対応したいと考えているとの回答でした。

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
28	75	総経	H30.7.3	センターちくさ	建設	生活道路	千草交差点から岩野辺までの道路拡張の要望	県の改良事業であり、予算の関係で進捗が少しずつになっています。引き続き早期の拡張についての要望を当局に要請していきます。
29	79	総経	H31.1.18	センター一宮	建設	災害復旧	山崎せせらぎ公園の改修は、原型復旧ではまだ同じ災害に見舞われるのではないかと。二度と同じ事を繰り返して欲しくない。	議会からも強く要望したところで、国との改良復旧の協議がほぼまとまり、その方向で復旧に係る予定であります。
30	82	総経	H31.1.18	センター一宮	建設	まちづくり	山崎商店街の石畳の老朽化で怪我や騒音被害がある	水道工事と合わせて改修予定でしたが、ルートが変更になったため、独自で改修することで、地元商店街と協議を進めているところです。
31	83	総経	H31.1.18	センター一宮	建設	道路整備	山田下広瀬線の道路建設が予定されているが、自家用車通院の利便性に繋がる道路の予定はないのか。菅野地区から城下地区への道路はどうなっているのか。	道路用地買収についての協議が難航しており、進捗がありませんが、早期着手に向けて、引き続き交渉を続けていきたいとのこと。
32	87	総経	H30.7.3	市役所	産業	定住対策・雇用	市内で求人しても働いてくれる人がいない。仕事を選ぶ時代。市内で就職してもらうためには何が必要なのか把握し対応する必要がある。	市の進める各種就職・就労活動支援事業についての成果と内容の検証を求めている。
33	88	総経	H31.1.15	波賀市民局	産業	定住対策・雇用	空家対策、獣害対策、過疎対策、耕作放棄地対策、消防団（防災）対策について考えて欲しい。仕事がないので、若者が外へ出て行って帰ってこない。残された者がどのようにして生きていくかも考えて欲しい。	重要な課題と捉え、行政と連携し課題の克服に向け、様々な角度から提案していきます。
34	89	総経	H30.7.3	センターちくさ	産業	定住	農業研修や農地取得などで移住者を呼び込む施策の要望	市が展開する新規就農・定住促進事業について市外への積極的な広報活動を求めています。
35	90	総経	H30.7.4	センターちくさ	産業	定住	農業・農地などの後継者を都市部から呼び込む施策の要望	
36	91	総経	H30.7.3	センターちくさ	産業	定住	男女の出会い交流を進め、子どもが健やかに育ち定住人口を増やす施策を。	移住・定住支援事業について、成果と事業内容の検証を求めます。

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
37	98	総経	H30.7.3	市役所	産業	交流人口増 対策 観光	観光パンフレット等各事業所企業が個別に作成 するのではなく、行政が主体となって作成、P R情報発信すべき	観光パンフレットについては、観光協会と 連携して作成を検討中であります。 観光協会主体となり、穴栗市内の点と点を 結ぶ、情報発信の仕方を今後も提案してい きます。
38	99	総経	H31.1.15	波賀市民局	産業	耕作放棄地 対策	荒廃農地対策の推進 上野地区耕地整理未実施のため大型機械も入ら ない。中間管理機構にも管理してもらえない。 対策を！	耕作放棄地の把握と適正管理に向けた 指導・助言の実施について農業委員会 に要請していきます。併せて、優良農 地の保全・確保と担い手への農用地利 用集積等の農地利用の最適化について も要請していきます。
39	100	総経	H31.1.18	山崎東中	産業	農業振興	耕作放棄地対策で特産物の振興を。	
40	130	総経	H30.7.3	センターちくさ	農業振興	耕作放棄地 対策等	耕作放棄田が増えている。売りたいが駄目とい われる。	
41	101	総経	H30.7.3	市役所	産業	後継者対策	農業後継者がいない。どの様な対策がされてい るのか。	新規就農・定住促進事業として奨励金と営 農継続経費助成、農地付住宅の提供、認定 農家による就農前研修の実施等を行っている。
42	107	総経	H31.1.23	センター三方	産業	空き家対策	空き家バンクでお試しは畑も一緒にすればいい のではないかと 草刈りなどの整備が不十分である	農地付き空き家制度として、農地取得 の下限面積を1aとしてその促進を 図っている。
43	108	総経	H.31.1.23	センター三方	産業	空き家対策	空き家が増えつつあり、将来は大変なことになり 心配している、諦めの心境である、事故災害 が起きないようにだけ気を付けて欲しい	穴栗市空き家等の対策に関する条例の 規定による空き家等対策協議会を設置 し、空き家の適正に管理に資すること としている。
44	114	総経	H31.1.18	山崎東中	産業	観光	山崎には道の駅がない。山崎町役場の跡地に道 の駅をつくって欲しい。国道沿いでなくても良 い考える。	観光ステーションの設置を含め、検討 中です。
45	115	総経	H30.7.3	市役所	産業		しょうぶ園のいく末について。	状況報告を求めていく。 担当委員会としても、注視して行きます。 す。
46	118	総経	H30.7.3	センターちくさ	人口減少対 策	生活拠点	Aコープの撤退が不安。日常生活（買物など） 支援を考えた生活拠点づくりの検討がされてい るのか。	生活拠点づくり検討委員会で議論され ています。

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
47	120	総経	H30.7.3	センターちくさ	人口減少対策	活気づくり	町民体育大会、伝統行事の復活などまちが活気づくイベントを行政の手で・・・	今後、拠点施設の整備と併せて地域の活性化について、市民と行政が協働して進めていくことが重要と思われます。
48	125	総経	H30.7.3	センターちくさ	人口減少対策	空き家対策	空き家は、今後も増え続ける。有効な対策はないか。	空き家バンク制度による移住定住策、危険空き家対策は実施しているが、それを上回る現実がある。
49	128	総経	H30.7.3	センターちくさ	道路改良	道路整備	志引トンネルを第一に考えてほしい。トンネルができれば智頭線の利用が容易になり若者の定住にもつながる。	美作市・宍粟市の間で、首長、議会が連携して取り組んでいる。研究会が立ち上がったので早期実現を目指す。
50	129	総経	H30.7.3	センターちくさ	河川管理	河川維持	小河川（県管轄）に葦が繁殖し困っている。対策を	市内の多くの個所で困惑されているので、災害防止の観点から県土木に要請していく。

* 文教民生関係分

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
1	3	文民	H30.7.3	市役所ほか	市民生活	ごみ回収	・資源ごみ回収について、行政はおおむね順調に進んでいるといっているが、分別が不十分、段ボールの結束の問題等々、ステーション管理も含め課題がある。資源ごみの出し方など、もっと広報し周知するとともに、定期的に巡回し、状況確認と対応について検討してもらいたい。	可燃ごみ週2回収集は、更に広く意見聴取に努めるとともに、多様な手段や施策の検討を行うよう指摘しています。また、資源物回収に関する地域への還元については、努力する地域が報われる内容であるなど、公平な還元方法を検討するよう指摘しています。
2	4	文民	H31.1.15	波賀市民局ほか	市民生活	ごみ回収	ゴミの回収増は時代に逆行している。子育て世帯としては、おむつの処理に困っている。市民局ごとにおむつステーションを設置するなど、高齢者のおむつも含め対応してほしい。	
3	17	文民	H31.1.18	山崎東中ほか	市民生活	ゴミ回収	ゴミの週2回の収集は、収集コストが二倍になるのでやめてほしい。現在の1回で充実してきている。子育て支援のための施策を充実して欲しい。	
4	20	文民	H31.1.18	山崎東中ほか	市民生活	ゴミ回収	資源物回収の説明会で、地域への還元の話があったがどのようなになっているのか。市民の負担が軽減されたと感じられる施策を実施してもらいたい。	
5	29	文民	H31.1.15	城下ふれあいセンター	市民生活	環境	太陽光設置を規制する条例が必要である。	条例制定に向けて作業中です。議会は、その内容を十分審査します。
6	31	文民	H31.1.15	城下ふれあいセンター	市民生活	医療費	医療費無償化は医療費の無駄遣いにつながっている。税の配分を考えるべきではないか。	子育て世帯の多くが、医療費等経済的負担の軽減を要望されており、近隣自治体の動向見ながら進めていかなければならないと考えます。

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
7	35	文民	H31.1.15	城下ふれあいセンター	健康福祉	外出支援	今は自動車を運転できるので、障がい者向けのタクシー券は、もったいないから使わずに返却している。しかしバス停までかなり距離があるので、今後自動車を運転しなくなった時が心配である。	公共交通に関する運行時間や便数、デマンド方式の検討など、地域の意見を聞きながら、利便性の向上に努めるよう要請しています。
8	36	文民	H31.1.18	山崎東中	健康福祉	外出支援	75歳以上の高齢者一人暮らしが多くなっている。買い物等にも苦慮している。外出支援の在り方を考えてほしい。	
9	37	文民	H31.1.18	山崎東中	健康福祉	外出支援	外出支援サービス事業は、事業費も多い。乗り合い乗車等を考えるべきである。	サービスの低下を招くことなく、事業費の抑制を図る方法を検討するよう要請しています。
10	38	文民	H31.1.23	センター三方	健康福祉	地域医療	一宮北部の地域医療対策はどうなっているのか。	穴栗総合病院を核とした診療体制を構築するなど、一宮北部及び波賀診療所の対応を要請しています。
11	43	文民	H30.7.3	センターちくさ	教育	スクールバス	スクールバスの運行乗車ルールは距離別ではなく希望制にすべきです。安全を考慮すると過去の前例で判断すべきではない。	一定の距離基準は必要と考えるが、低学年の一人通学等については、検討するよう要請します。
12	44	文民	H30.7.3	センターちくさ	教育	スクールバス	小学生1人の徒歩通学は不安です。スクールバスに乗れないのか。野生動物や誘拐・交通事故を考えるととても不安です。	

番号	元番号	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
13	52	文民	H31.1.18	山崎東中	教育	保育所整備	共働きの世帯がほとんどです。長時間保育等子どもを大切にする施策の充実を望みます。	幼保一元化の推進等、教育保育環境の充実と子育て支援の充実を最重要課題の一つとして取り組んでいます。
14	58	文民	H30.7.3	市役所	総合病院	総合病院	穴栗市民にとって穴栗総合病院は必要な病院です。市民が安心して受診できる充実した病院になってほしい。	穴栗総合病院の必要性から、県の計画において、特定中核病院に指定され、養成医の派遣などにより、医師確保の取組みを県より積極的に支援されます。 また、安全安心、信頼される医療が提供できるよう、診療内容の充実をはじめ、赤字解消に向け、病院改革に取り組むよう指摘しています。
15	61	文民	H31.1.18	センター一宮	総合病院	総合病院	穴栗総合病院の移転建替は、市の財政負担の増加や医師の確保は大丈夫なのか。	

* 広報広聴常任委員会関係

	所管委員会	日時	場所	大分類	小分類	市民意見	議会としての考え方及び対応
1	議会	H31.1.18	山崎東中	議会	広報広聴	傍聴に来てもらえるような議会にならないといけない。	傍聴を促進するような議会を目指して不断の努力を行います。
2	議会	H31.1.15	城下ふれあいセンター	議会報告会	広報広聴	平日の夜の開催でなく、もっと市民が集まりやすい日時があるのではないか。	報告会の開催方法については、より市民が参加しやすい方法について検討を行います。
3	議会	H31.1.23	センター三方	議会	広報広聴	議会報告会に人が集まらない原因を考えて欲しい	